

平成 26 年度第 3 回（131 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 26 年 9 月 16 日午後 2 時から

場 所：中清戸地域市民センター第 1 会議室

出席者：菊谷隆、吉岡袈裟喜、鬼澤義信、林光夫、法性由紀枝、
川原寿春、小寺茂、渡辺正宏、芹澤正男、内田貞司、
今間洋一、大津里美、柴田正子、白井航也、大槻義顯

事務局（市民協働係長、主任）

欠席者：長谷部勝也、竹森菜摘、車崎祥子、山本強、山下文夫

<配布資料>

- 1 平成 26 年度第 3 回（第 131 回）清瀬市まちづくり委員会次第
- 2 提案「結核治療のメッカの地、清瀬に「結核歴史資料館（仮称）を！」回答（案）及び資料
- 3 提案「清瀬市の PR について」回答（案）
- 4 提案「やさしい行政（住民に）」及び資料
- 5 提案「まちづくり委員について、清瀬市内に通学する人を選任するとよい」（案）

1 開会

2 前回の確認

委員長：前回の議事要旨の確認をしてもらいたい。

委 員：「肖像権」ではなく、「商標登録」であると思う。

3 提案審議

委員長：提案「結核治療のメッカの地、清瀬に「結核歴史資料館（仮称）を！」の回答について確認してもらいたい。

委員：新しい新庁舎に結核研究所の資料を展示する部屋を設ける等の内容を盛り込みたい。

委員：複十字病院の資料を見学する体制作りをするのはどうか。

委員長：結核研究所などの結核関連施設への見学を行いたい。

事務局：確認してみる。

委員長：この提案に対しては回答とするが、今後の対応のため、次回の会議の前に見学をする。他に回答としての意見、訂正はないか。

委員：訂正無し。

<委員了承>

提案「清瀬市のPRについて」の回答について訂正はないか。

委員：訂正無し。

<委員了承>

委員長：では次の提案について審議していきたい。

【提案内容】

・提案の題名

やさしい行政（住民に）

・提案内容

個人で市の行政に関係する事項は多々ある。通常住民票や印鑑証明の発行とは別に、住民から見ると、in と out が一元的に享受出来るサービスを個別にアドバイスできる総合アドバイザーが行政サービスでは今後必要ではないか！

Ex) 住民税や所得税、固定資産税という住民から見ると out（支出税負担）と享受される減税や障害者サービスなど、市報で通知される各種サービスを各々の課が縦割で、各々別々に相談しないと解決しない。（in）

情報を理解しないまま、そのサービスに享受されない住民が今後多発されると懸念されます。トータル生活アドバイザー（行政）が、各々巡回し、家庭訪問型で生活支援や行政サービスの各種アドバイス機能を行って新しい行政サービスをつくりあげる事を望みたい。

一方、窓口や市職員の仕事を見直し、人の仕事をITによる定型機械化を両輪すべきで、人員を増やさなくして、サービス向上を狙って小さな行政機関による大きなサービスをも目標に改革すべき。マイナンバー制の導入でITだけが走り出す弊害を「人」によりサービスが主として機能する思惑を期待したい。

委員長：マイナンバーは公平・公正な社会を実現する重要な社会の基盤である。

委員：市には総合アドバイザーはないのか。

事務局：市民課には案内コンシェルジュを設置している。

委員：この提案は提案者の年代によって、捉え方が変わってくる。

委員：自分の考えのみで提案としているので、意見であると思うが、このまち

づくり委員会として回答はするべきであると思う。

委員：今後の高齢化に伴い、必要な住民サービスについて前向きな提案であると思う。

委員：市役所に行ってからサービスを受けるのではなく、市からサービスを提供するのだと思う。しかし、人を増やさずサービスの向上をさせるのは現実的ではない。

委員長：市の進捗状況などが、わからないと回答案作成も難しい。ヒヤリングをし、案を作り、次回見てもらいたい。回答とする。では新しい提案について読み上げる。

【提案内容】

・提案の題名

まちづくり委員について、清瀬市内の大学に通学する人を選任するとよい

・提案内容

清瀬市内には「社会事業大学」や「明治薬科大学」などがあります。

これからの「まちづくり」を考えていくためには、将来の清瀬を担う人（大学生）の意見を生かしていくことも有益なことと考えます。

そのため、清瀬市民であって清瀬市内の大学に通学する人のなかから、「まちづくり委員」の団体推薦枠委員として当該大学から推薦してもらったらよいと提案します。

もちろん、推薦してもらう大学生は、2年間にわたって会議に出席できる条件でないと困ります。

委員：メリットがあるなら良いと思う。

委員：実際は出席出来るのか。

委員：現に一般公募で大学生が入っている。

委員：市内の大学の学生は実習があるので、委員を務める2年間の任期は厳しいと思う。

委員：市では今未来カフェなど、色々と若者が参加出来る体制があるので、わざわざ改めて選任する必要はないと思う。

委員長：条例では18歳以上の市内在住、在勤及び在学の者としている。

委員：大学は実習で忙しいので、現実的に厳しいと思う。

委員長：次回、回答案を示す。現在提案が無い状態なので、委員の方からも提案をいただきたい。

委員：市報では出しているのか。

事務局：今年の9月号で出している。

委員長：近年出されている提案で過去の提案と似ているものもある。回答後の進捗についても調査したい。次回は午後1時から結核研究所などの結核関

連施設への見学を行いたい。

次回 10 月 21 日、14 時より生涯学習センター会議室 2 で行なう。